

個人投資家向け 企業IRセミナー

2026年7月23日



東証プライム:5632

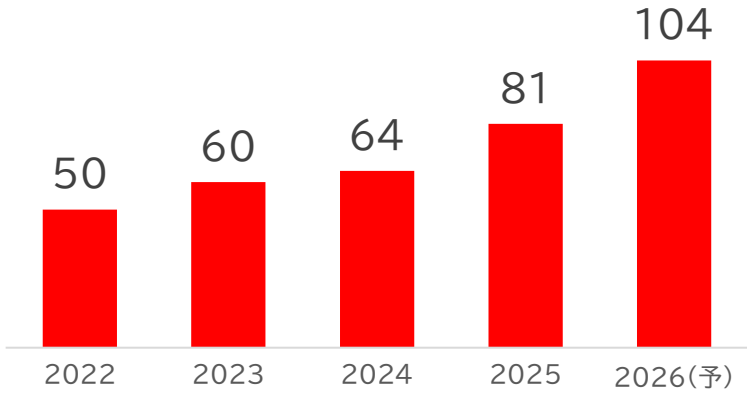
目次

I. 会社概要		P. 2
II. 当社の事業		P. 9
III. 2026中期経営計画		P.17
IV. サステナビリティの取り組み		P.33
V. ご参考資料		P.38

I . 会社概要

会社名	三菱製鋼株式会社
本社所在地	東京都中央区月島四丁目16番13号(Daiwa月島ビル)
創業	1917年(大正6年)4月
設立	1949年(昭和24年)12月
資本金	100億3百万円(2026年3月末現在)
代表者	代表取締役社長執行役員 山口 淳
決算期	3月
連結売上高	1,546億円(連結)(2026年3月期)
グループ会社数	連結子会社数:17社(国内:6社、海外11社)
従業員数	3,864人(連結) 695人(単独)(2026年3月末現在)

株主還元の推移



還元方針

DOE

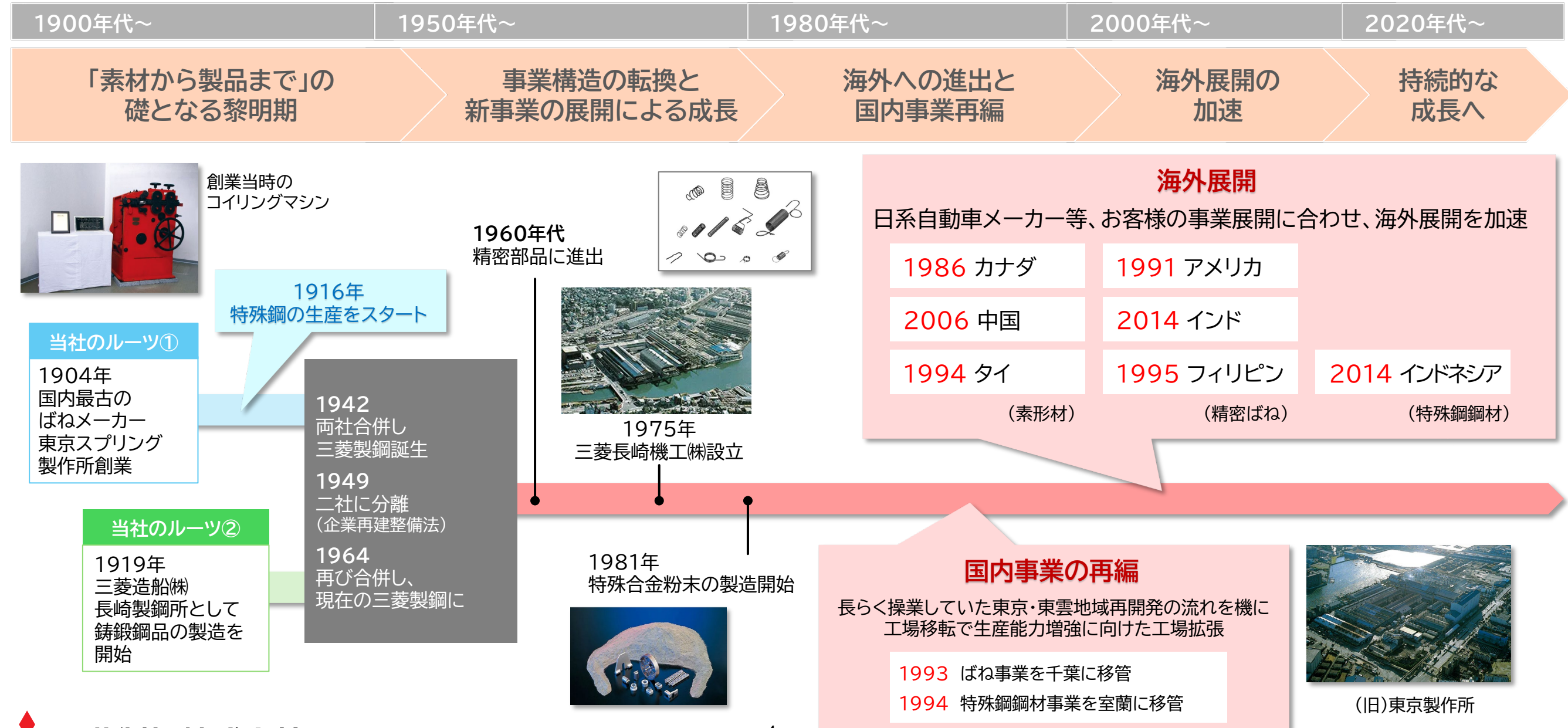
3.5%

(※2026中計期間)

パーパス

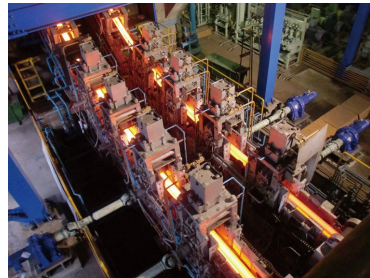
想いをカタチにする力で 挑み ^{あす}未来を 支えつづける

当社グループの軌跡

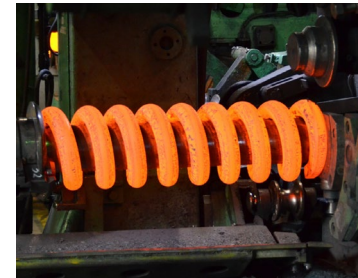


三菱製鋼とは？

「素材」となる**特殊鋼**から
「製品」の**ばね**までを一貫生産



素材となる特殊鋼を生産



ばね製品に加工

長年培った技術を活かして、**成長分野に事業拡大**

新興国需要



海外鋼材

多様化するニーズに応える



高機能ヒンジ



特殊合金粉末

政府が掲げる戦略分野



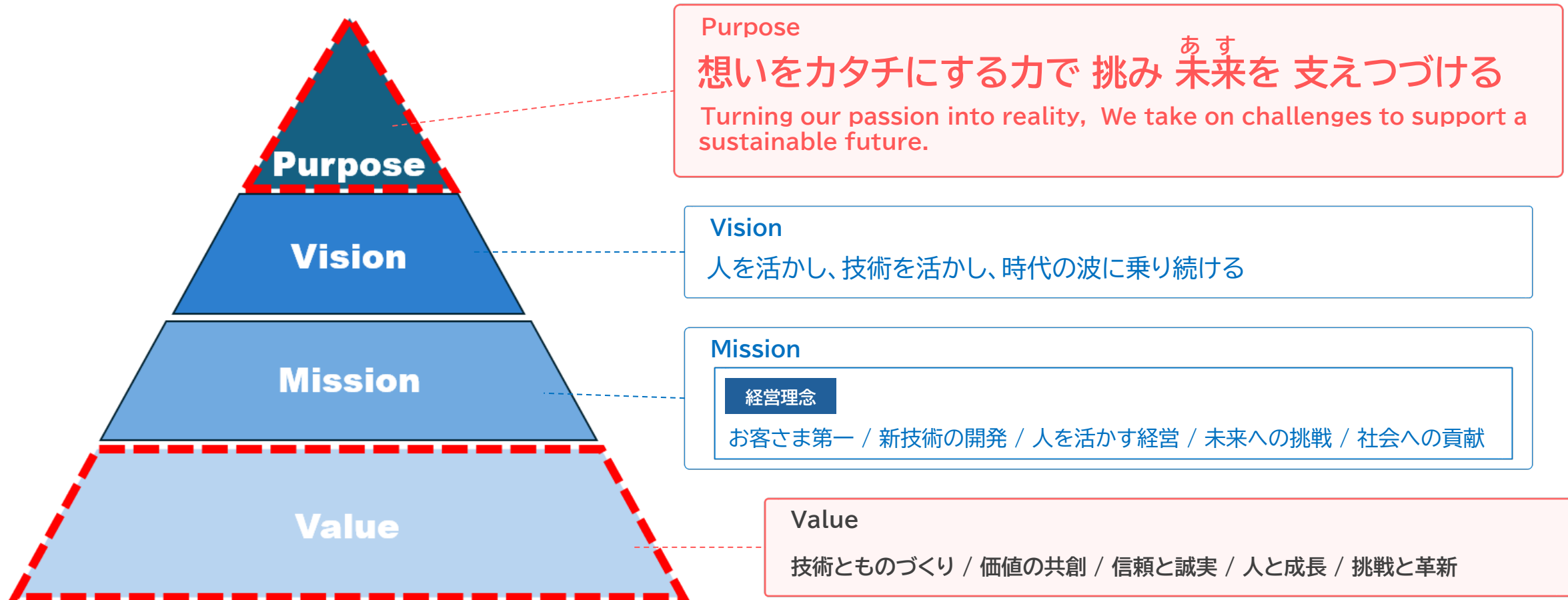
エネルギー分野
(洋上風力等)



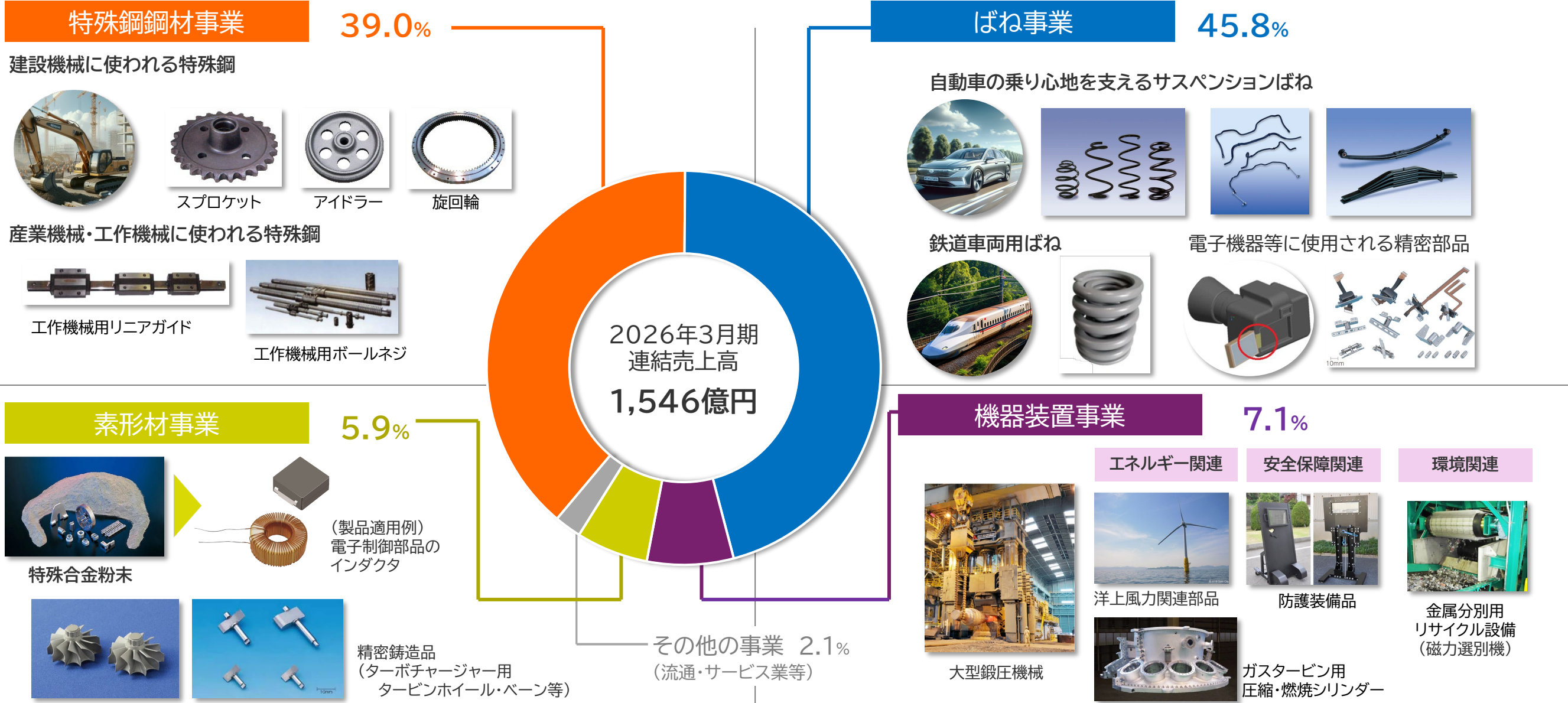
安全保障分野

三菱製鋼のパーパス

「パーパス」を起点に、2030年に向けた経営の方向性・行動規範・価値観を一体化し、持続的成長と企業価値向上につなげる取り組みを推進。



三菱製鋼の4つの事業



国内・海外ネットワーク

国内拠点



三菱製鋼室蘭特殊鋼
(北海道室蘭市)



千葉製作所
(千葉県市原市)



広田製作所
(福島県会津若松市)



三菱長崎機工
(長崎県長崎市)

特殊鋼鋼材

ばね

素形材

機器装置

海外拠点



MSM (THAILAND)
(タイ)



寧波菱鋼彈簧
(中国)



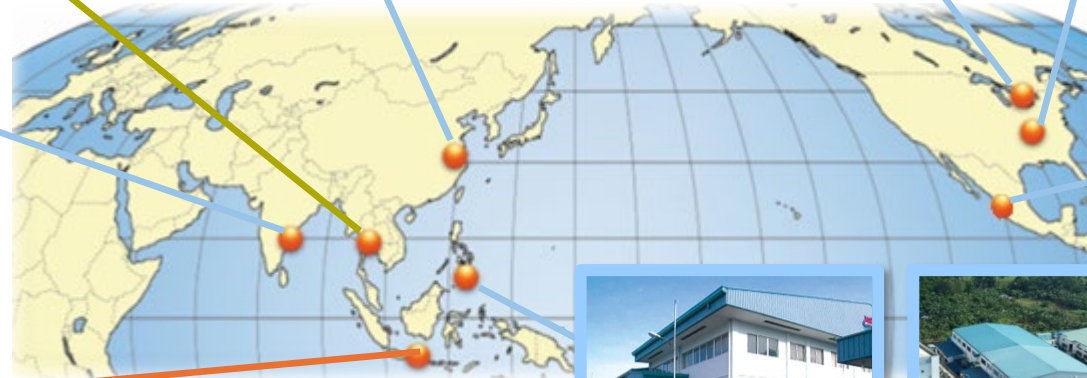
MSSC CANADA
(カナダ)



MSSC US
(アメリカ)



MSM SPRING INDIA
(インド)



MSSC MEXICANA
(メキシコ)



JATIM TAMAN STEEL
(インドネシア)

(セブ工場)



MSM Philippines
(フィリピン)※精密部品



(マニラ工場)

※売却を決定

Ⅱ. 当社の事業



特殊鋼とは？

さまざまな**特殊**な性質を持つ**鋼**



鋼

+

Cr

クロム

Ni

ニッケル

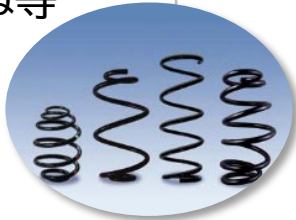
Mo

モリブデン

等々...

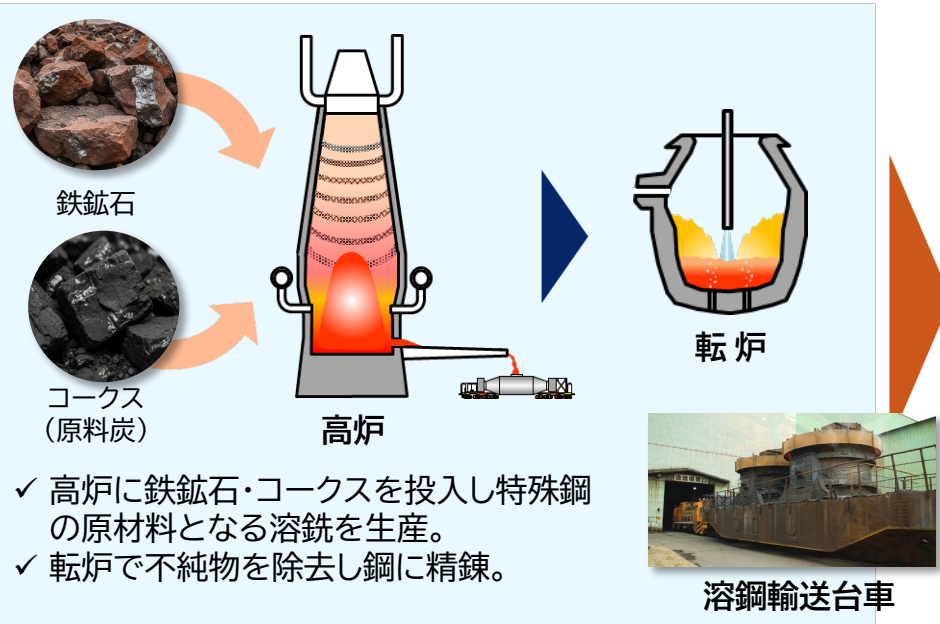
用途に応じてさまざまな合金元素を付加して、必要な特性を出す

さまざまな特性とは？

代表的な 特性の例	高耐久	弾力性	錆びにくい	熱に強い
主な用途	過酷な場面で使われる 建設機械の部品等	衝撃や振動を 吸収する 自動車のばね等	海水に晒される 洋上風力発電の 部品等	高温環境下で 使用される エンジン部品等
	 スプロケット アイドラー 旋回輪			

特殊鋼の生産プロセス 当社の国内拠点(室蘭)では、競合の特殊鋼専門メーカーと異なり、**高炉製法**で特殊鋼を生産。

室蘭コンビナート内で日本製鉄(株)様と協業



海外は電炉製法で生産



三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)

製鋼工程

- ✓ 合金添加による成分調整や温度コントロールで様々な鋼種を生産。



炉外精錬装置

- ✓ 連続 casting 設備で、溶鋼を1本約9トンの鋳片に固めていく。



連続 casting 設備

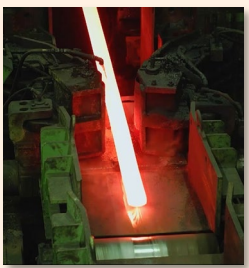
圧延工程

- ✓ 2,500tプレス機で強力な圧力を加え、鋼の強度や均一性を向上。



2,500tプレス

- ✓ 全連続V-H圧延機で、用途に合わせて幅広いサイズに延ばして成形。



全連続V-H圧延機

精整工程

- ✓ 鋼材の矯正・表面の面取り等の仕上げを行う。
- ✓ 自動探傷機等を用いて最終的な品質チェックを行う。



自動探傷機

出荷



特殊鋼鋼材事業

特殊鋼鋼材事業
39.0%

生産拠点

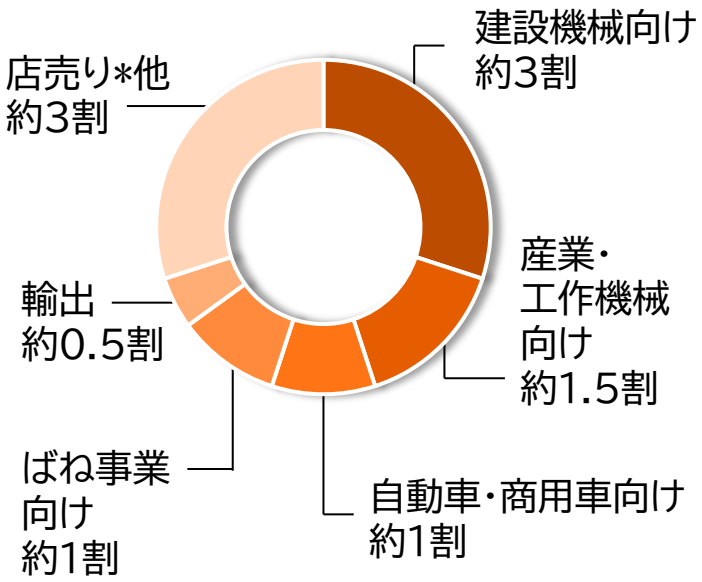
国内：三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)（北海道室蘭市）
海外：PT. JATIM TAMAN STEEL MFG.（インドネシア）

主な向け先

国内事業 約8.5割

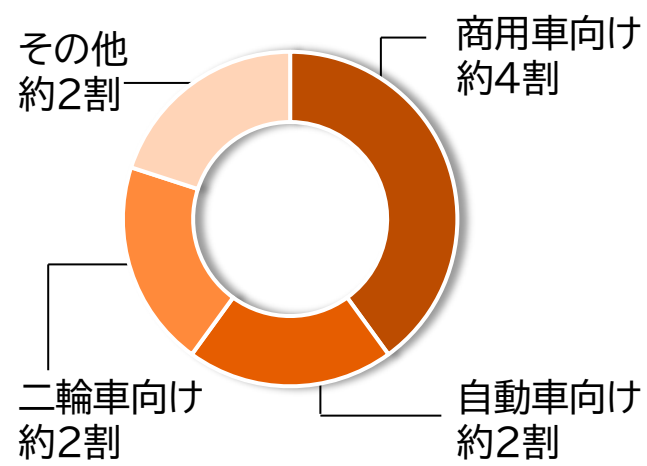
海外事業
約1.5割

国内事業



戦略事業

海外事業



*店売り：鋼材を取り扱う商社・問屋等

国内事業のポイント

高炉由来の原材料から生産

➤ 電炉の材料となるスクラップに比べ不純物が少なく、
高品質な鋼材を生産しやすい。

太径鋼種に強み

➤ 直径19mm～350mmまで幅広い鋼種に対応可で、
特に太径の鋼材は、**国内シェアNo.1**

新分野への拡販

➤ 中長期的な国内市場の縮小を見据え、**成長分野の鋼種開発**も推進中。

海外事業のポイント

戦略事業として事業拡大

（詳細P.25）

➤ **東南アジア唯一の製鋼一貫特殊鋼メーカー**として、
成長見込む海外市場の需要に応えていく。

「ばね」とは？

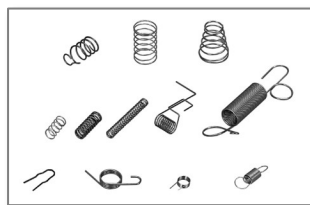
力を加えると変形し元に戻ろうとする性質を使って、
「衝撃や振動を和らげる」「荷重を支える」
 等の機能を担う部品

当社が扱う「ばね」

- ✓ 「巻ばね」は大型なものから精密ばねまで
- ✓ 「スタビライザ」や「板ばね」等も手掛ける



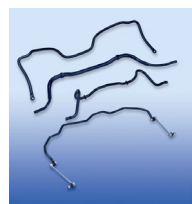
自動車用巻ばね



精密ばね



建設機械用
太巻ばね



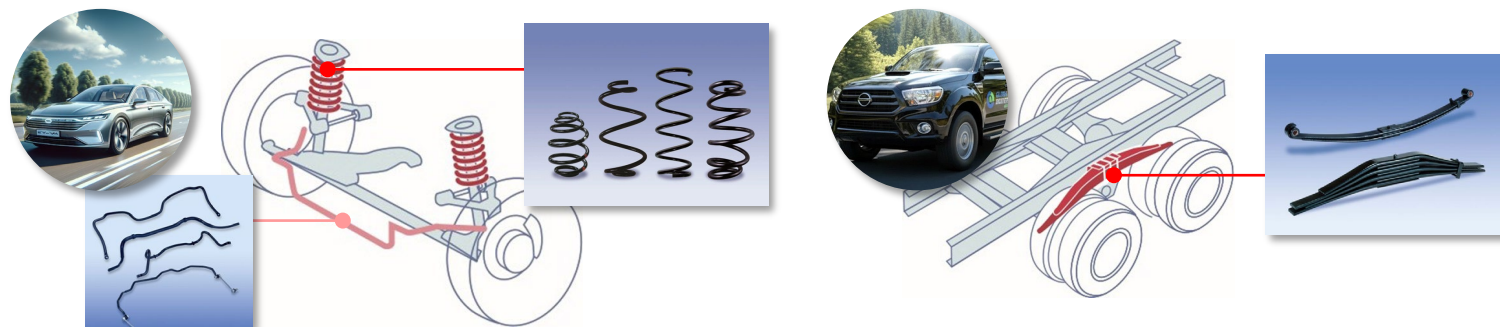
スタビライザ



板ばね

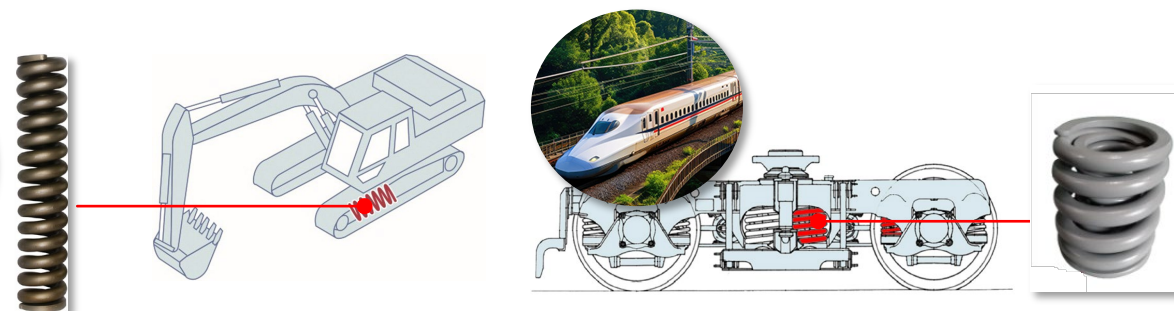
当社の「ばね」の主な用途

- ✓ 自動車用のばねが大半。
- ✓ 足回りに組み込まれ、**路面からの衝撃や振動を吸収し、乗り心地を支える。**
- ✓ 重要保安部品に該当し、**安全性を支える高い耐久性と品質**を誇る。



- ✓ 特に太い径のばねを得意とし、建設機械や鉄道車両等にも使われている。

建機向け
太巻きばね
**世界シェア
No.1**



- ✓ ばねの技術を応用し、電子機器等に使われる高機能ヒンジも生産（詳細P.24）

ばね事業
45.8%

生産拠点

国内：千葉製作所（千葉県市原市）

海外：MSSC CANADA INC. (カナダ)、MSSC US INC. (米国)、
寧波菱鋼彈簧有限公司(中国)、MSM SPRING INDIA PVT. LTD. (インド)、
MSM Philippines Mfg. Inc. (フィリピン)

主な製品

自動車用ばね・スタビライザ
約6割



戦略事業

商用車用板ばね
約2割



部品事業 約0.5割
(トラックや建設機械用の
補修部品・用品等)



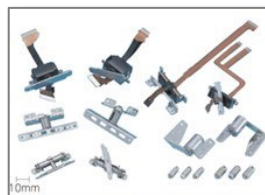
産業車両・建設車両用
タイヤチェーン

太巻ばね (建設機械・鉄道車両)
約0.5割



戦略事業

精密部品 約1割



ポイント

◆ 1904年創業の日本最古のばねメーカー(東京スプリング製作所)をルーツとして、**長年モビリティの発展に貢献。**

◆ 主要需要先である自動車業界は、
電動化(EV・PHEV等)という大きな変革期



- ✓ 「ばね」を含む**自動車足回りの構造は大きな変更が想定されていない。**
- ✓ バッテリー搭載による車体の重量増等により、ばねの**さらなる軽量化等が求められる。**

「素材」「加工」双方のノウハウを持つ当社の強みを生かし
独自のばね軽量化技術を発揮

生産拠点

国内：広田製作所（福島県会津若松市）

海外：MSM (THAILAND) CO.,LTD.(タイ)

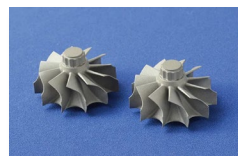
主な製品

戦略事業

特殊合金粉末 約3割



精密鋳造品
約3割



ターボチャージャー用
タービンホイール



ターボチャージャー用
バーン

サーキュラーエコノミー
に貢献

シュレッダーハンマー

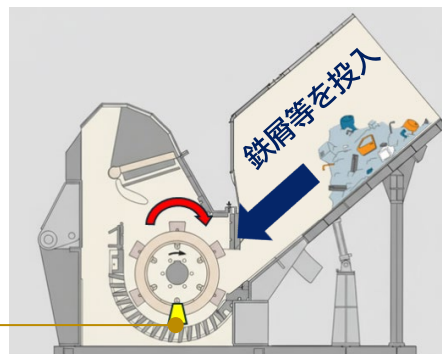


特殊材料・加工品
約2割

精密機械加工品
(自動車・電子機器向け等)
約1割



カメラ用部品



鋳鋼品
約1割

ポイント

✓溶かした金属を、

- ・ 型に流し込んで成形する「**鋳鋼・鋳造品**(鋳物)」
- ・ 合金元素を独自の配合で加え微細な粉末状に加工する「**金属粉末**」等を主要製品とする。

✓自動車や電子機器・産業機器・農機等、幅広い分野に製品を提供。

◆ 自動車内燃機関向け中心の製品ポートフォリオからの脱却を図る

✓従来は、ターボチャージャー用のタービンホイールやバーンといった、自動車内燃機関向け部品が事業の中心。

✓自動車の電動化により将来的な需要減が想定されることから、市場の拡大が見込まれる**特殊合金粉末**を**戦略事業**に掲げて育成。
(詳細P.28)

素形材事業
5.9%



精密鋳造品の生産工程

生産拠点

国内：三菱長崎機工(株)
(長崎県長崎市・諫早市)



大型製品の加工・輸送に適した
海に面した広い敷地に工場を構える

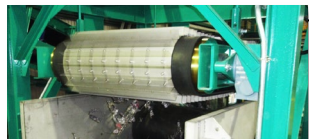
主な製品

安全保障関連
約2割



防護装備品

環境関連機器 約2割
(磁力選別機等)



産業設備機器 約2割
(鍛圧機械、リングローリングミル等)



大型鍛圧機械



リングローリングミル

鉄構関連機器 約4割
(圧力容器、製鉄機器、
洋上風力関連機器等)



圧力容器

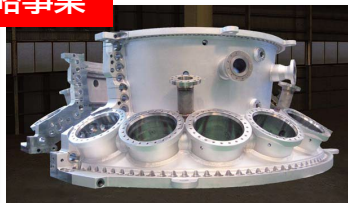


製鉄機器

戦略事業



洋上風力
関連部品



ガスタービン用
圧縮・燃焼シリンダー

ポイント

- ◆ 機械設計から製造、据付・組立工事まで一貫したサービスを提供する総合エンジニアリング事業
- ◆ 向け先は多岐に渡り、**今後成長が期待される分野**も多い。
 - ✓ AIの普及やデジタル化の進展に伴う電力需要増で注目される**エネルギー分野**(ガスタービン、洋上風力関連等)
 - ✓ 国の防衛予算増額を背景に受注が好調な、**安全保障分野**
 - ✓ サーキュラーエコノミーや、リチウムイオン電池混入時の発火・火災事故のリスク低減に貢献する金属分別用リサイクル設備(磁力選別機)
- ◆ **業界屈指の大型加工技術**を保有



製品大型化が進む
洋上風力発電分野



世界最大級の大型機械
鍛造プレス・マニプレーター



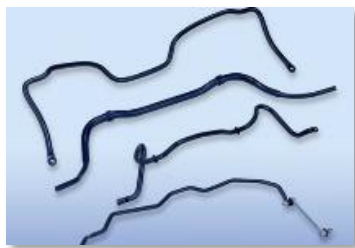
世界最大重量の
浚渫作業用バケット

機器装置事業
7.1%

Ⅲ. 2026中期経営計画

2030年のありたい姿

基盤事業



国内鋼材

自動車ばね・スタビライザ

稼ぐ力を強化してキャッシュを創出



戦略事業



精密部品



商用車・車両用ばね



特殊合金粉末



海外鋼材



安全保障・エネルギー関連



洋上風力関連

稼いだキャッシュを成長が期待できる
戦略事業に積極投資

基盤事業の構造改善と戦略事業の収益化を進め、資本効率を高め、企業価値向上を図っていく。

2026中計の概要

本年5月に、今年度(2026年度)～2028年度の3年間を対象とする新中計を公表。
「2030年のありたい姿に向けて実現可能性を高める3年間」と位置づける。

主要KPI (2028年度目標)

営業利益

110億円

ROIC

6.5%以上

ROE

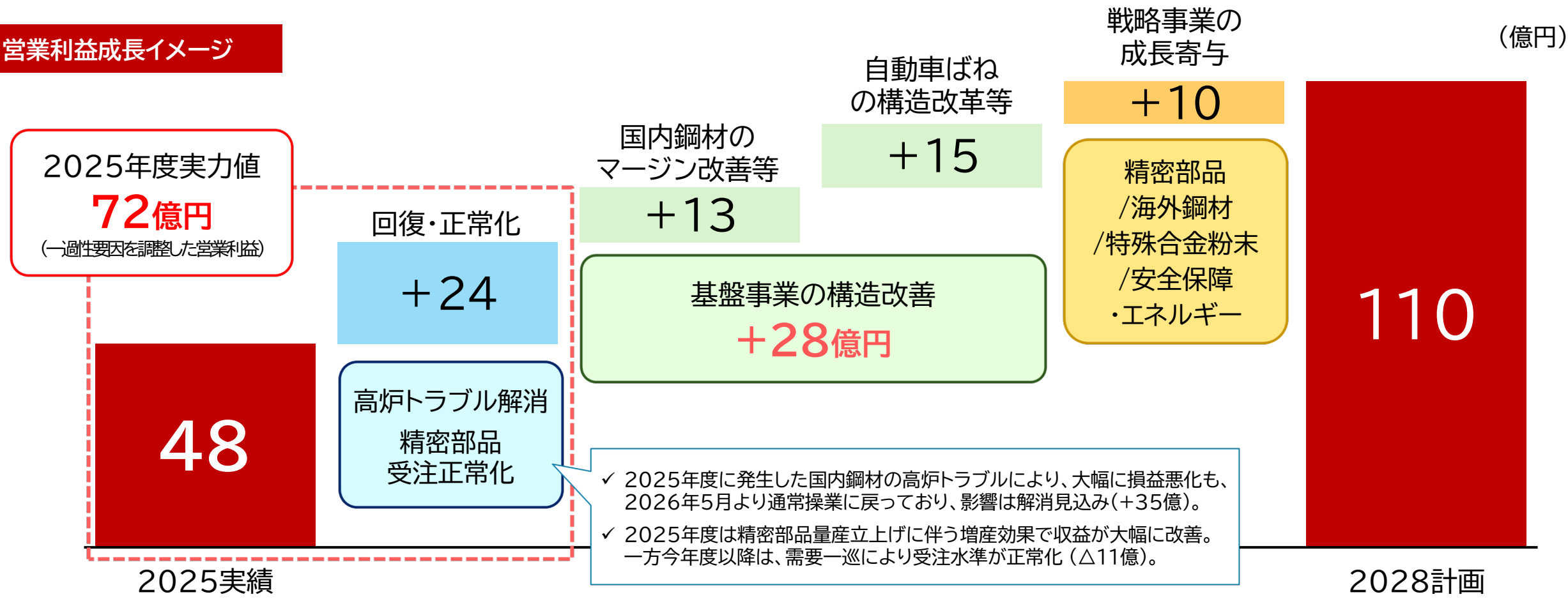
10%以上

- ✓ 基盤事業では収益力とキャッシュ創出力を再建し、戦略事業では勝てる領域に経営資源を集中。
- ✓ 戦略事業の比率を高め、国内鋼材に依存した現在の利益の質を転換し利益目標達成を目指す。
- ✓ ROIC を軸に資産効率を高め、ROE 向上を通じて資本効率と市場評価の改善につなげる。

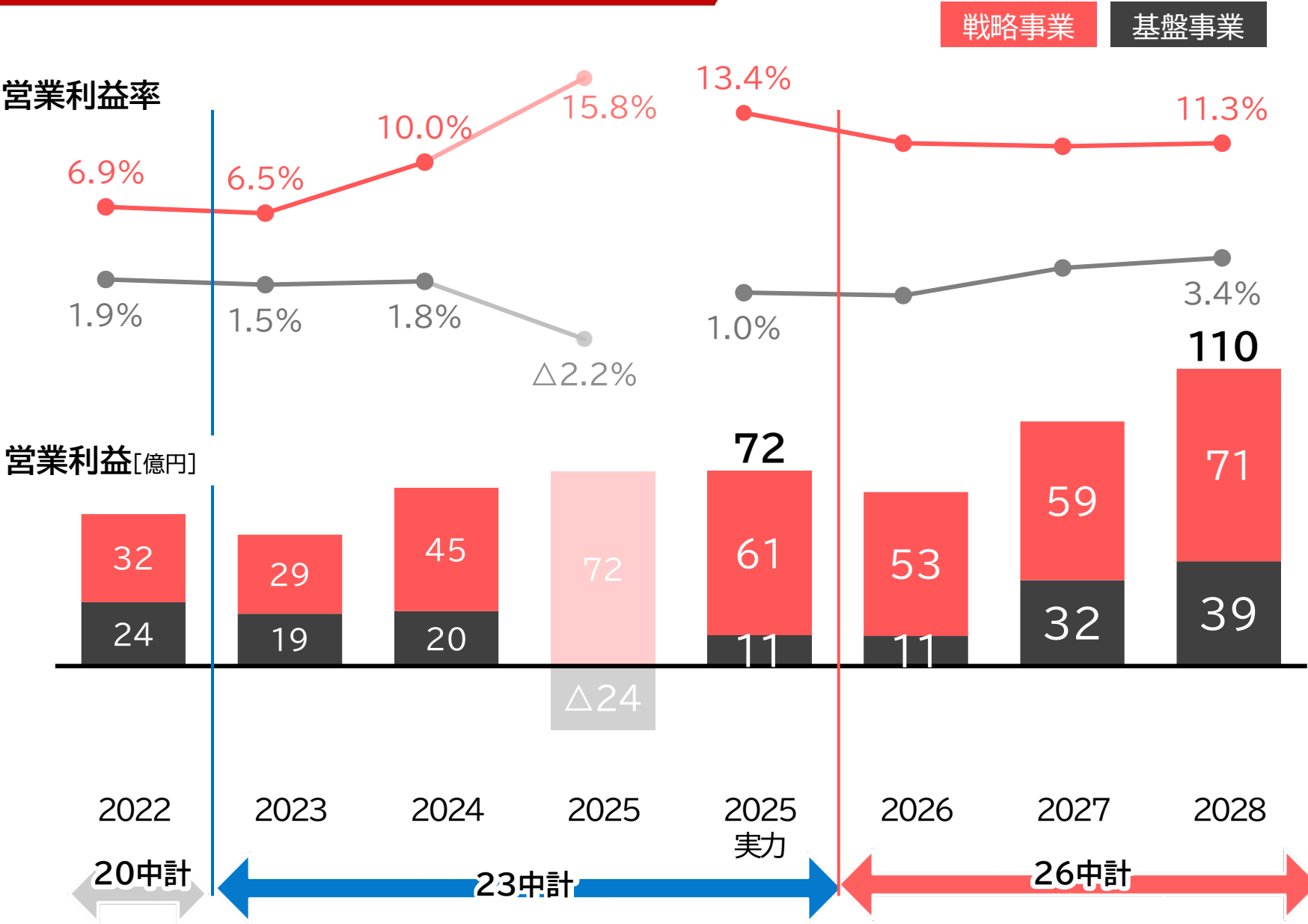
2026中計 利益成長イメージ

➤ 2025年度の営業利益の実力値72億円を起点として、基盤事業の構造改革+28億円(P.22)、戦略事業の成長寄与+10億円(P.23)により、2028年度営業利益110億円を目指していく。

営業利益成長イメージ



基盤・戦略事業の役割



利益構成の転換で
持続的成長を実現

(2028年度営業利益 戦略事業比率:65%)

戦略事業 P.23

将来の利益成長ドライバーの収益化

- ・ 収益力が高く、市場の成長が見込める
戦略事業は、今中計期間中で収益化
& 将来に向けた基盤を整備

戦略事業の成長寄与により+10億円

基盤事業 P.22

収益基盤の再建とキャッシュ創出

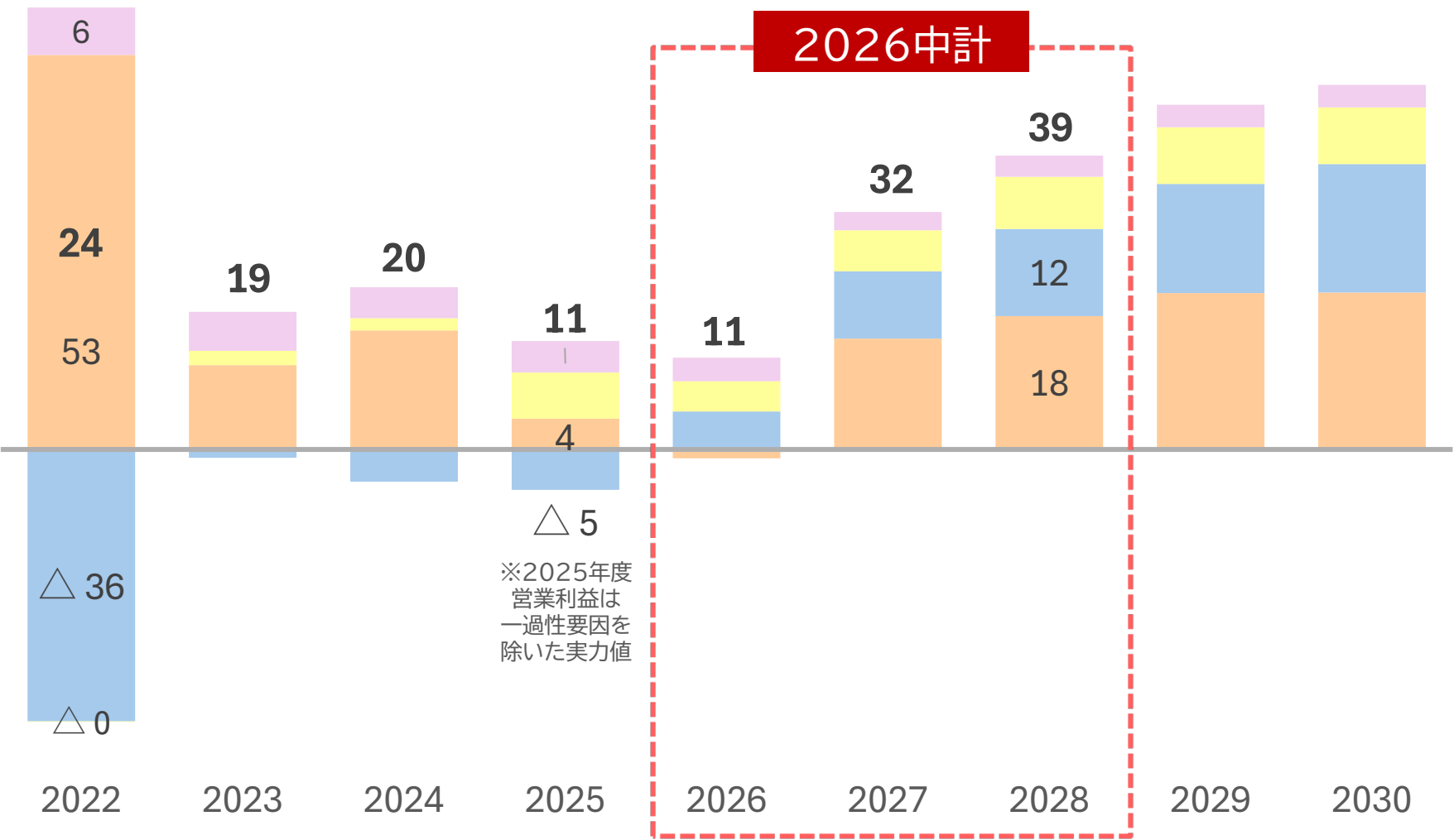
- ・ 基盤事業は構造改革により、
収益とキャッシュの土台を立て直す

基盤事業の構造改善で+28億円

基盤事業の再構築

営業利益 [億円]

国内鋼材
自動車ばね・スタビライザほか
鋳鋼・精鋳ほか
その他機器装置



△ 36
△ 0
△ 5
※2025年度
営業利益は
一過性要因を
除いた実力値



国内鋼材

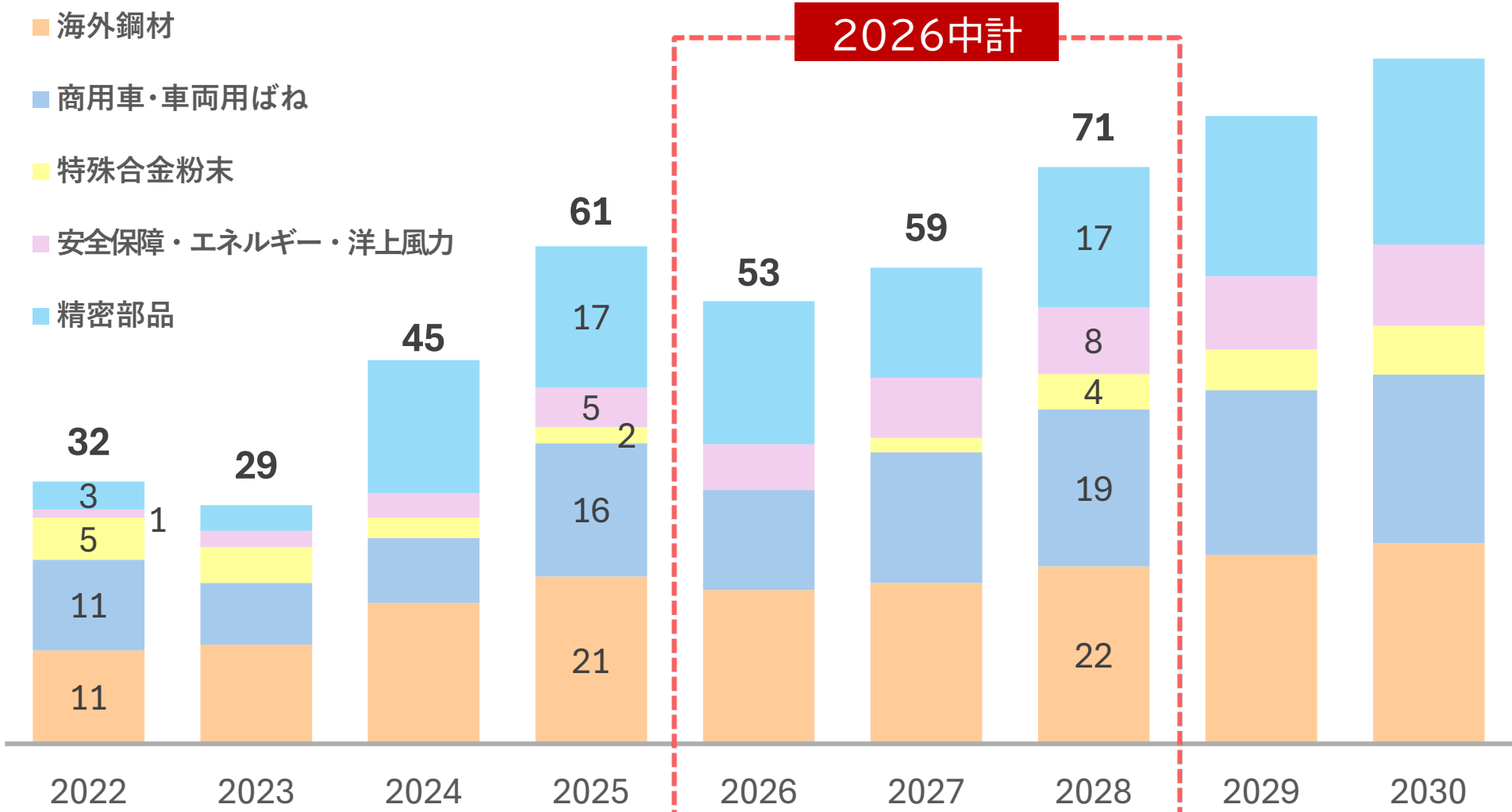
- ✓ 25年度の高炉トラブル影響は26上で影響残るも下期より回復。
- ✓ 需要環境に不透明感も、売価改善等による収益性向上で、量に依存しない体質へ転換。



自動車ばねほか

- ✓ 前中計で北米子会社の再建は進捗も道半ば。27年度中に完遂させる。
- ✓ 不採算拠点の整理も進め、ROIC向上を図る。

営業利益 [億円]



※2025年度
営業利益は
一過性要因を
除いた実力値

今中計で収益貢献を加速



精密部品



商用車・車両用ばね

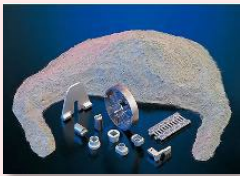


海外鋼材



安全保障・エネルギー

次の成長の柱としての
基盤を整備



特殊合金粉末



洋上風力関連

精密部品(高機能ヒンジ)

26中計で収益化へ移行

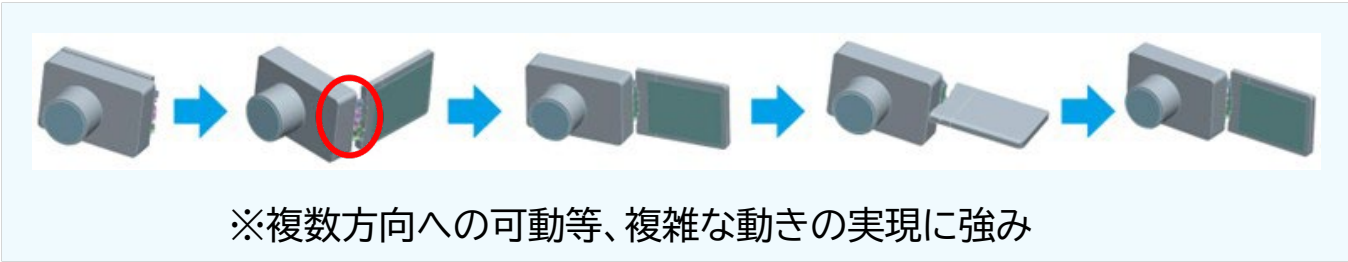


高精度・高信頼が求められる領域で、精密部品を次の成長ドライバーへ

市場機会	23中計での進捗	勝ち筋	今後の注力点	目指す姿
高精度・高機能化	能力増強完了	特許・設計力	採用品目拡大	高収益事業化

主な特長

➤ デジタルカメラやパソコン等の液晶部分の可動域に使用。

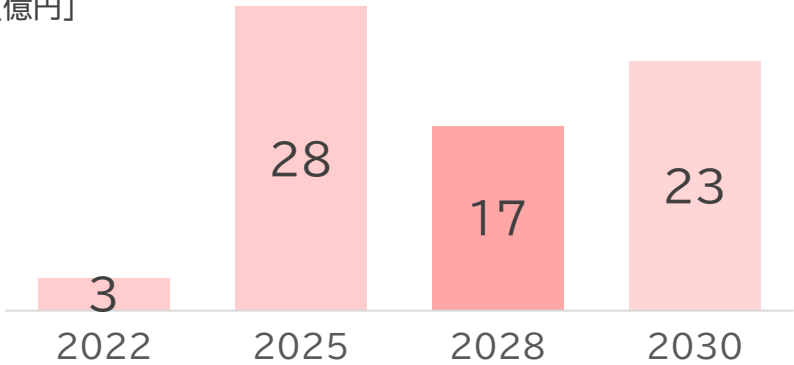


- 部品設計から組立までの一貫生産で、お客様のニーズに柔軟に対応。
- 特許を取得した高い技術で、さらなる採用品目拡大を図る。

情報端末	車載端末	ウェアラブル商品	福祉・介護
------	------	----------	-------

利益計画

営業利益 [億円]



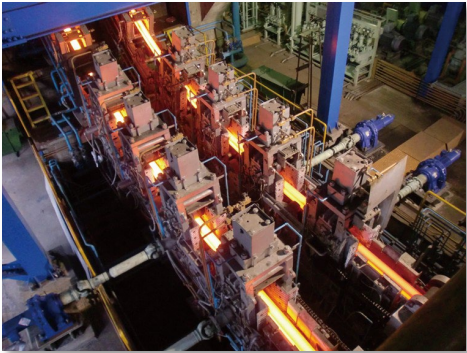
- 25年度は、量産立上げに伴う増産効果で収益が大幅改善。
- 26度以降は、需要一巡により受注水準が正常化。
- 強みを生かした採用品目拡大で収益貢献を高める。

海外鋼材

26中計で収益化へ移行

成長見込む海外市場で、高品質材の玉成と現調化を両輪に収益機会を拡大

市場機会	23中計での進捗	勝ち筋	今後の注力点	目指す姿
ASEAN・インドで 現調化進展	コスト/売価改善で 損益分岐点を改善	ASEAN唯一の 特殊鋼メーカー	高品質材玉成・ 早期フルキャパ化	利益を伴う拡販

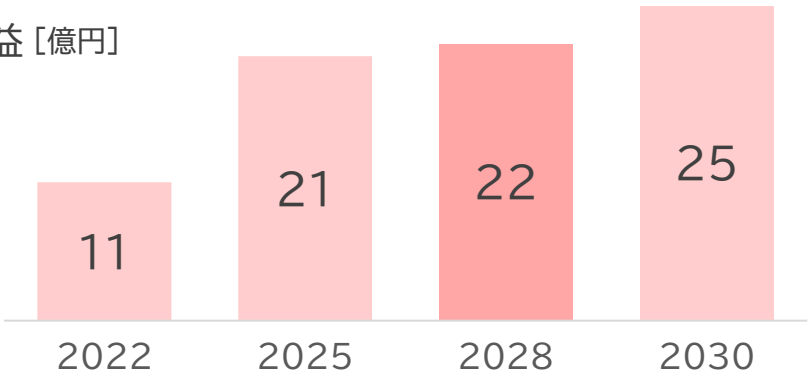


主な特長

- 特殊鋼鋼材事業の海外拠点としてインドネシアで特殊鋼を生産。
東南アジア唯一の製鋼一貫特殊鋼メーカー。
- 中長期的な成長が見込まれるASEAN・インド市場の現地調達化ニーズに対応。
- 25/10～使用電力の100%を再生可能エネルギー由来に切替。
「グリーン鋼材」の供給に向けた大きな前進となる。

利益計画

営業利益 [億円]



- 設備増強含めた供給基盤の整備により、コスト改善が進捗し、収益に貢献。
- 前中計期間中に能力増強投資実施。今後も、市場需要を見極めながら段階的な投資を継続する。

PT. JATIM TAMAN STEEL MFG.

プラント1: 東ジャワ州シドアルジョ市
プラント2: 東ジャワ州グレスック市



商用車・車両用ばね

26中計で収益化へ移行



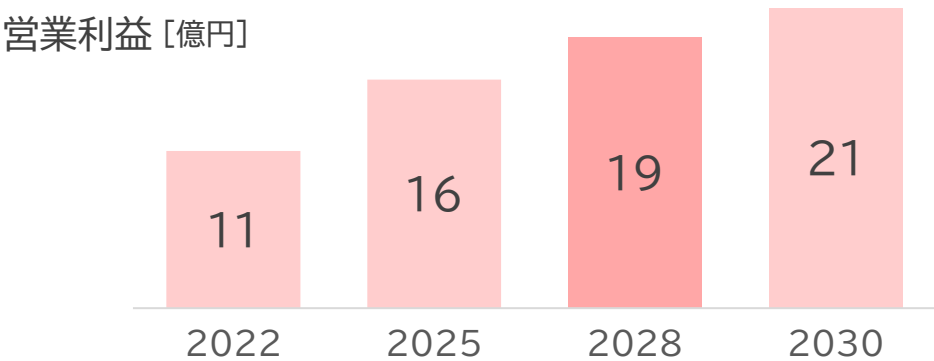
商用車・車両用途での開発対応力を高め、板ばね事業の成長を図る

市場機会 北米・欧州・インドに 参入余地	23中計での進捗 利益改善 開発基盤整備	勝ち筋 一貫生産 ・軽量化技術	今後の注力点 高付加価値化 拠点化・調達強化	目指す姿 着実な成長と 第二拠点の実現
-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------

主な特長

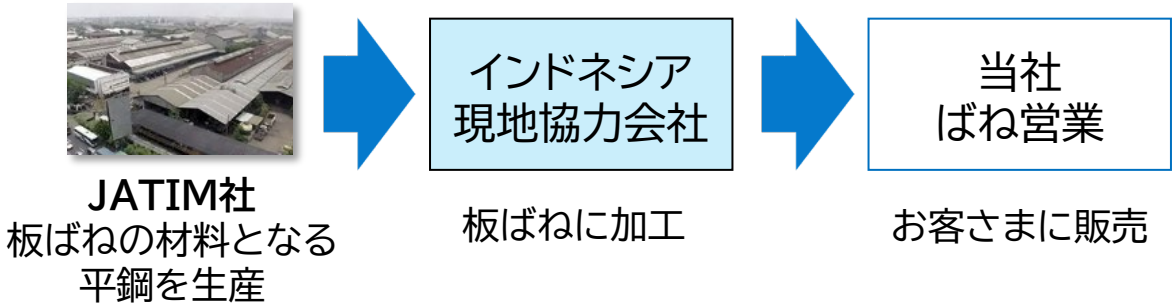
- 商用車や鉄道等の足回り部分に組み込まれ、地面からの衝撃や振動を吸収し、乗り心地向上に貢献。
- 「素材」と「加工」の技術を持つ当社ならではのアプローチで、軽量化ニーズに対応。

利益計画



- 既存市場の収益改善を進めながら、インドネシアに次ぐ第2の拠点設立を、提携・M&Aも活用し検討中。
- 参入余地のあるインド・北米を中心に、今中計期間で次の成長拠点を具体化する。

素材からの一貫生産モデル



安全保障・エネルギー関連

26中計で収益化へ移行



新工場建設・能力増強を通じて、安全保障・エネルギー関連の成長に備える



主な特長

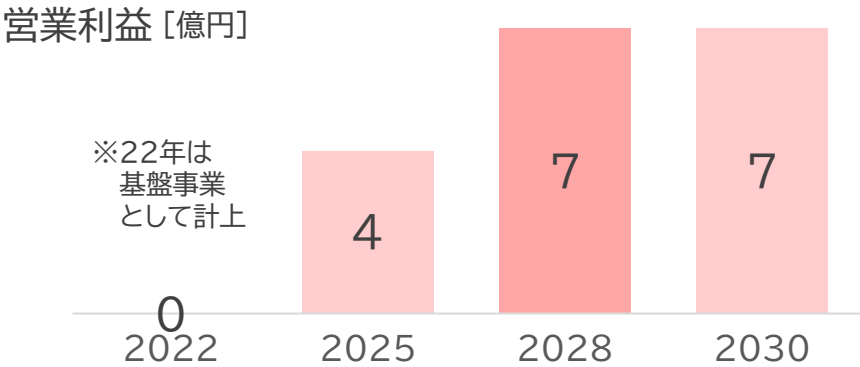
- AIの普及やデジタル化の進展に伴う電力需要増で注目されるエネルギー分野向けに、ガスタービン用製品等を生産。
- 当社の高い熱処理技術を活かし、国の防衛予算増額を背景に受注が好調な、安全保障分野にも製品を提供。
- 足元の旺盛な需要と将来の受注拡大に向け、新工場建設を決定。

【三菱長崎機工 神ノ島工場(仮称)】

- ◆ 建設予定地: 長崎市神ノ島工業団地内
- ◆ 総投資額 : 約46億円(第1期:約30億円)
- ◆ 稼働時期 : 2027年1月 ※第1期(予定)
- ◆ 生産品目 : エネルギー関連製品、防衛関連製品等



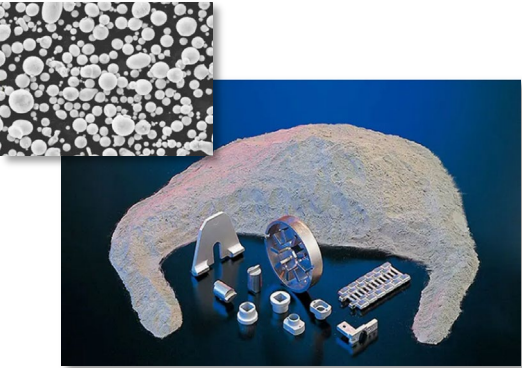
利益計画



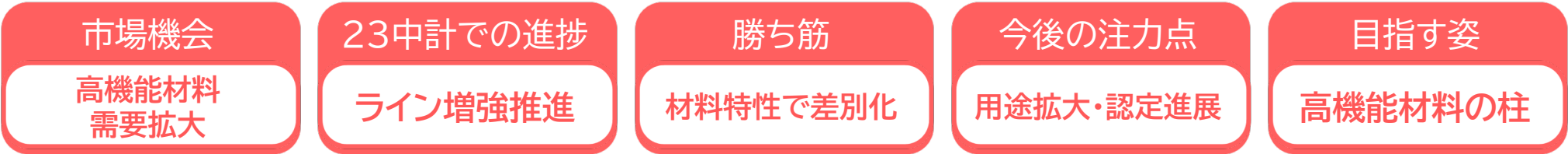
- 安全保障・エネルギー関連の受注は、社会的要請等を背景に引き続き好調に推移。
- 新工場立上げにより、生産能力・供給能力を高め、中長期の成長需要に対応

特殊合金粉末

26中計以降で中長期成長



高機能材料需要の拡大を捉え、収益化を進展させる



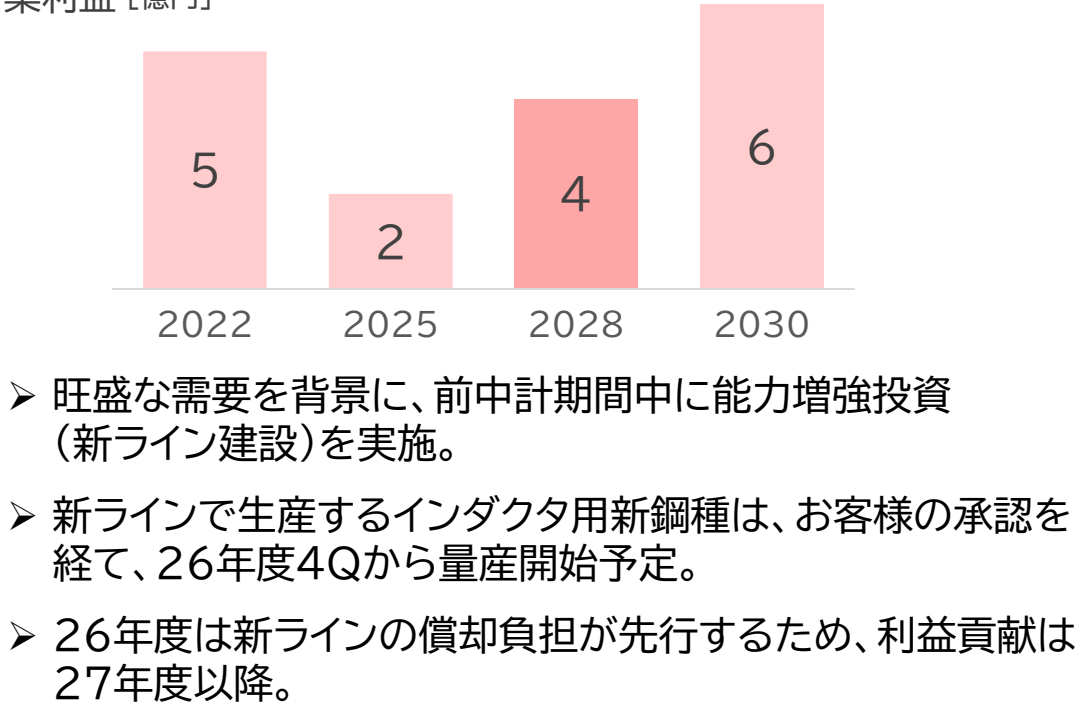
主な特長

特殊合金粉末とは？

- ✓ 溶かした金属にさまざまな合金元素を独自の配合で加え、微細な粉末状に加工した製品。
 - ✓ 配合により、「耐熱性」「耐腐食性」「磁気特性」等、お客さまのニーズに応じた特性を付加することが可能。
 - ✓ 自動車部品や電子機器をはじめ、航空、宇宙、防衛関連等の成長分野など、さまざまな製品に使用される。
- 特殊合金粉末は、3Dプリンタ向けや、AI・データセンター向けサーバー用のインダクタ需要の高まりにより、**今後の市場成長が大きく期待**される。

利益計画

営業利益 [億円]



洋上風力発電関連

26中計以降で中長期成長



風車の大型化と市場拡大を見据え、洋上風力関連事業の基盤を整備

市場機会	23中計での進捗	勝ち筋	今後の注力点	目指す姿
洋上風力拡大	大型設備導入	大型化対応力	案件化・受注獲得	成長市場参入

主な特長

- 設備の大型化が進む一方で、国内有数の大型化ニーズに対応できる加工技術・設備を保有。

(当社の供給する主な製品例)



風車を支える基礎部位



自己昇降式作業台船 (SEP船)昇降装置



ナセル架台



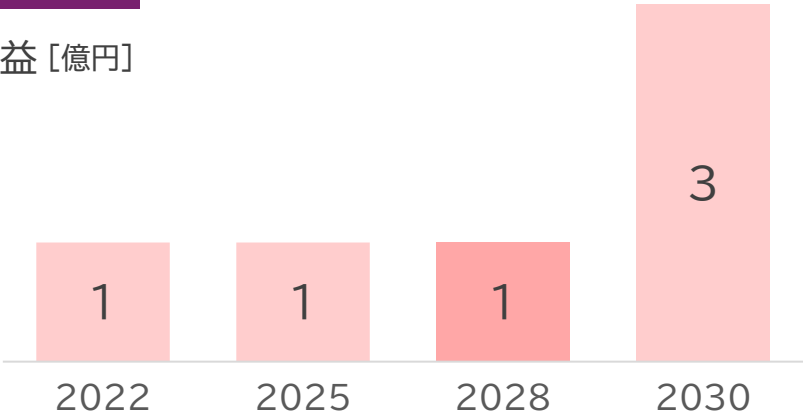
タワー用フランジボルト
向け鋼材

写真提供:
ハマックス株式会社

長崎県五島市沖の浮体式洋上風力に、**当社グループの部材が採用**
(風車を支える直径約8mの基礎部材)

利益計画

営業利益 [億円]



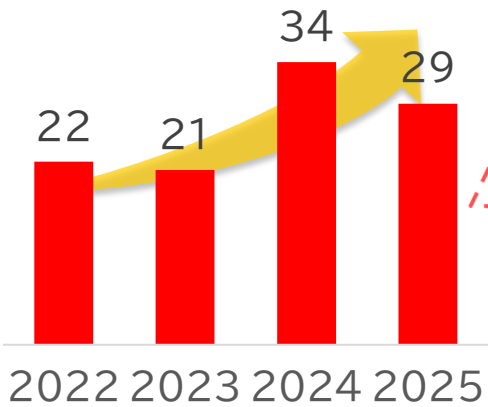
- 2030年以降に本格化が見込まれる需要拡大に向け、大型化対応に必要な主要設備の導入を完了。
- 国内外市場の動向を注視しつつ、関連部材加工で収益機会を捉えていく。

研究開発について



- ◆ 各事業部に分散していた研究開発機能を集約し、技術開発を促進させる目的で、技術開発センターを設立(2016年)。
- ◆ 人員:61名(2026年3月末現在)
- ◆ お客様のニーズを引き出す“顧客提案型”の開発を推進。

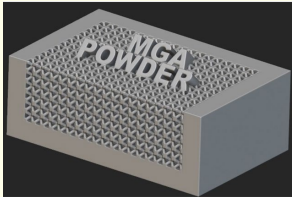
戦略事業に関する試験研究テーマ数



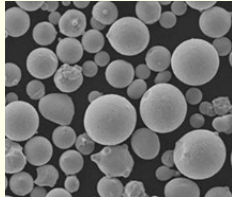
「素材」×「加工」の技術をコアに
成長分野である戦略事業の
試験研究を強化。

戦略事業

素材から製品へ(用途開発)



3Dプリンタ製品

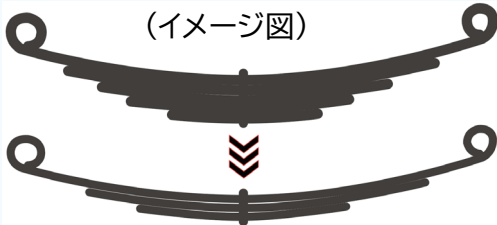


素材粉末

✓需要が高まる**3Dプリンタ向け粉末**の
用途拡大に向けユーザー目線で開発
(自動車・航空・宇宙 等々…)

戦略事業

ばねの軽量化技術



品質維持しつつ板枚数減で軽量化を実現

✓「素材」×「加工」の技術で
材料の高強度化を実現し、
業界屈指の軽量化を実現

新規事業

副産物を活用した新規事業



磯焼けした海



スラグ

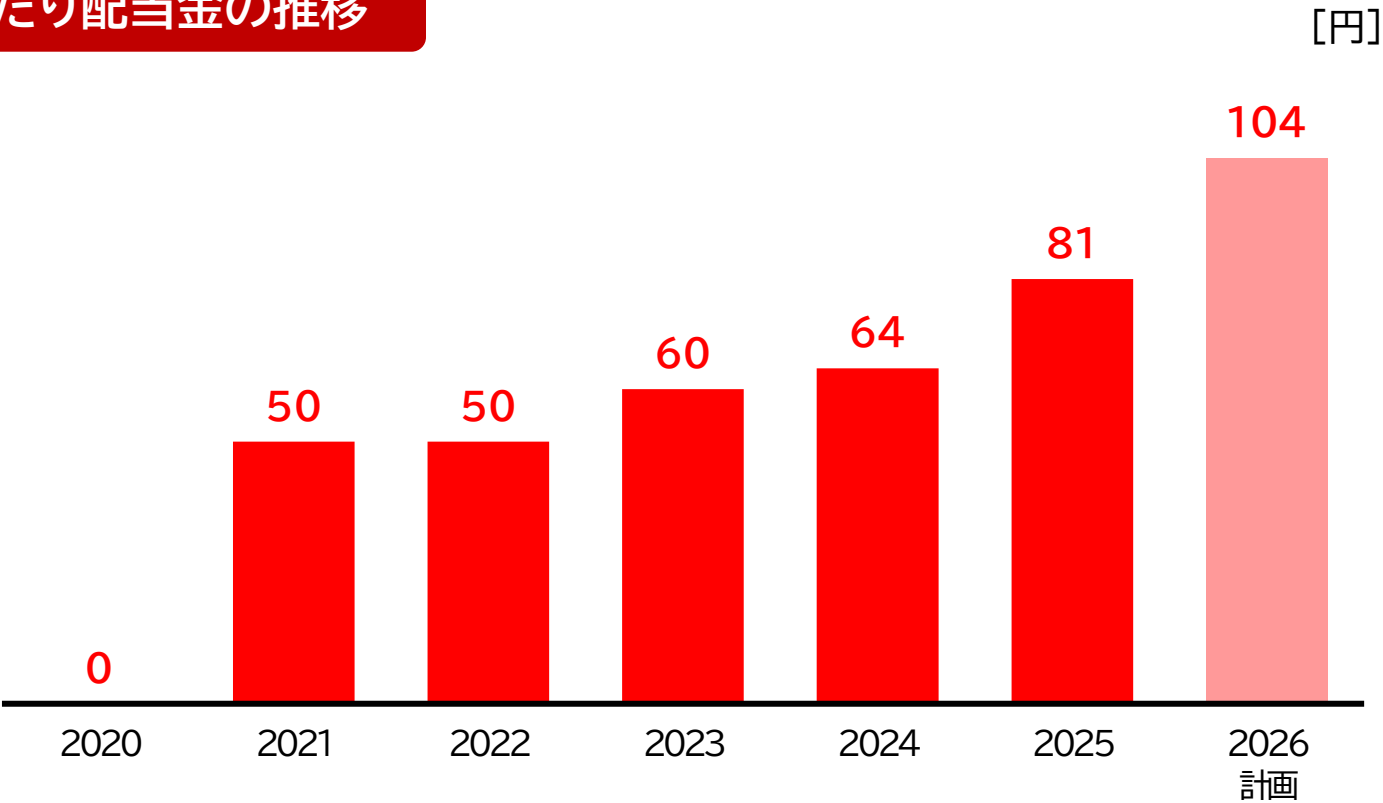


豊かな海

✓鉄鋼生産で発生する
製鋼スラグ活用で、
藻場の再生に貢献

株主還元

1株当たり配当金の推移



配当性向	—	19%	35%	—	41%	40%	51%
当期純利益	△55億	41億	22億	△10億	24億	31億	31億
DOE	—	1.9%	1.7%	2.0%	2.3%	2.8%	3.5%

株主還元方針

DOE^(※)
3.5%
2026中計期間中の配当方針

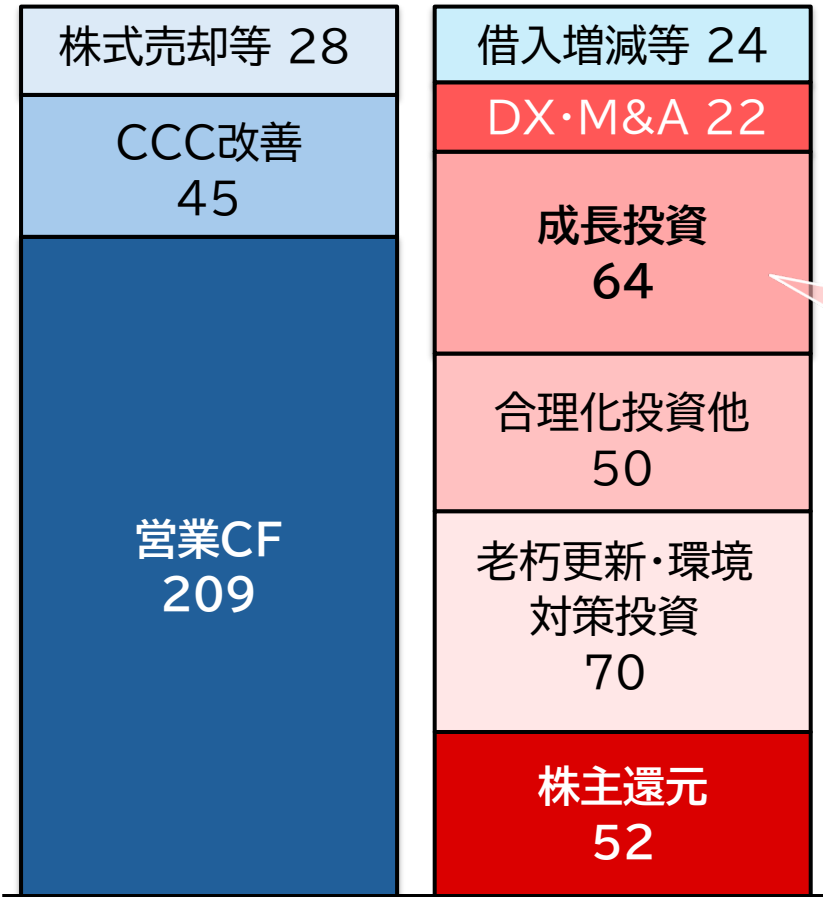
(※)DOE：支払配当 ÷ 株主資本(前期末)

- ✓ DOE3.5%を基準とする安定配当へ移行。
- ✓ 利益変動に左右されにくい、安定的・予見可能な配当を継続。
- ✓ 自己株取得は、投資機会・資本水準・株価水準・財務状況を踏まえ機動的に判断。

キャッシュ・アロケーション (創出した資金の使い道)

営業キャッシュ・フローを原資に、成長投資を実行しつつ、安定還元・財務健全化を両立

2026中計期間
キャッシュ・アロケーション [億円]



資本配分の優先順位

1. 安全・法令・安定供給を支える老朽更新・環境対策投資
2. 資本コストを上回る成長投資
3. 安定配当
4. 財務健全化
5. 機動的自己株取得

成長投資の 主な配分先

- ・ 精密部品: 量産対応、採用品目拡大
- ・ 海外鋼材: 高品質材拡販、段階投資
- ・ 商用車用ばね: 提携・M&Aも活用した複数拠点化
- ・ 特殊合金粉末: 認証取得、用途拡大
- ・ 安全保障/エネルギー: 新工場立上げ、供給能力強化

自己資本比率
38%

2028年度末見込み



自己資本比率
40%

2030年度末見込み

IV. サステナビリティの取り組み

サステナビリティ経営の推進

カーボンニュートラルに向けた取り組み

2030年 **排出量削減50%** (2013年度比)

&

2050年 **カーボンニュートラル**

✓ 足元は、CO₂フリー電力の活用等により、概ね**計画通りに進捗**。

環境に優しい製品

再生可能エネルギー関連

洋上風力発電関連製品



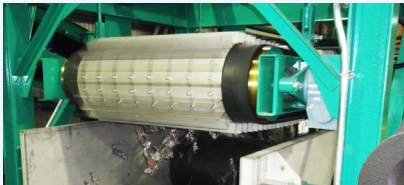
潮流発電分野にも進出



出典:環境省「潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業」

サーキュラーエコノミー関連

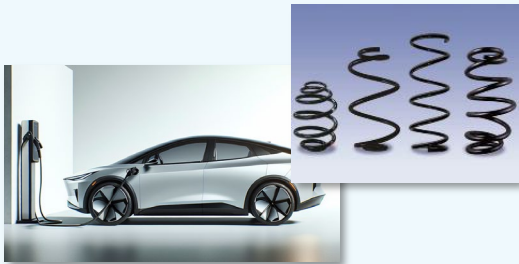
磁力選別機



シュレッダーハンマー



自動車の環境負荷低減



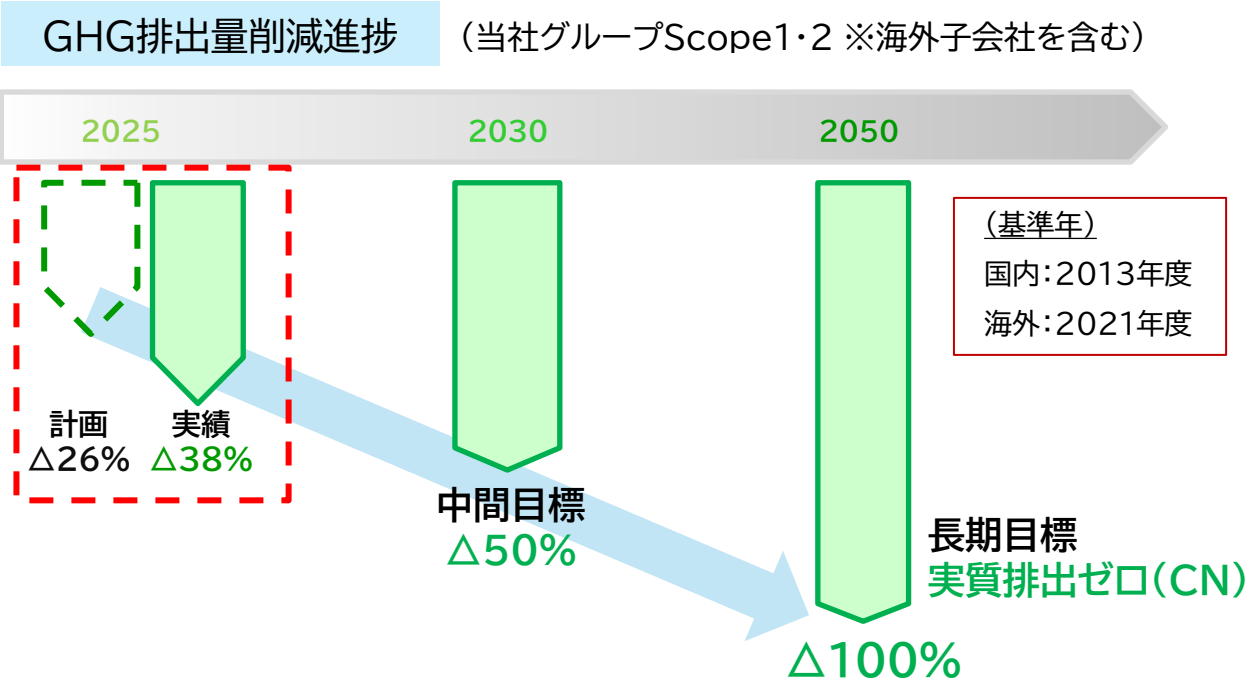
「バッテリー搭載による車体重量増」の課題に「ばねの軽量化」で応える

その他

製鋼スラグで海を再生

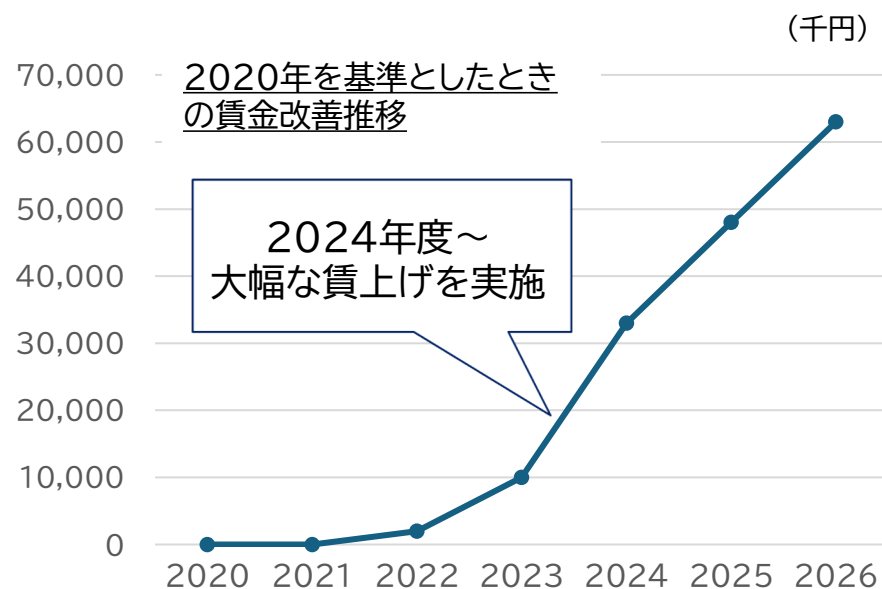


お客さまの生産工程におけるCO₂排出量削減に貢献する鋼材



人材への投資を強化

◆ 過去最高水準の賃金改善

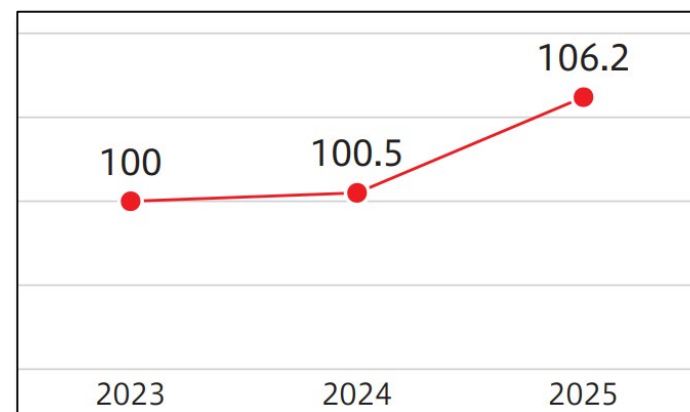


従業員満足度の可視化と改善

◆ 「エンゲージメントサーベイ」のスコアは着実に改善傾向

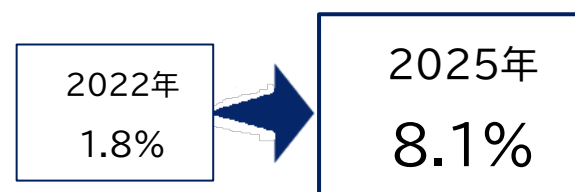
エンゲージメントサーベイ総合スコア推移

(初回調査(2023年度)を100として換算)



女性活躍

◆ 管理職候補者層の女性比率が向上



社会的評価の獲得



健康経営優良法人
(大規模法人部門)



プラチナくるみん

中計達成のカギとなる「**人の成長**」を成長ドライバーとする

人的資本投資の強化を進めていく。

企業版ふるさと納税による寄付



(北海道室蘭市、福島県会津若松市、
千葉縣市原市、長崎県長崎市)

当社拠点地域に縁のある
チームや選手への支援



VONDS市原FCと
パートナーシップ契約を
締結



©n.velca

三菱長崎機工(株)が
長崎ヴェルカの
公式パートナーに



フィリピンと日本にルーツを
持つジュニアアスリート
(鈴木新一選手)

パラスポーツ支援



(一社)日本車いすバスケットボール
連盟とオフィシャルサポーター契約
を締結。
従業員を対象とした体験会等を実施。



地域貢献・交流活動



近隣地域のお祭り・
イベント等への参加



三菱製鋼長崎製鋼所
原爆殉職者慰霊祭



近隣の学校の
工場見学受け入れ



工場近隣地域の
清掃活動

海外拠点の取り組み



孤児院への寄付・訪問
(タイ)



社員有志による慈善団体への寄付
(カナダ)



マングローブの森を守る植林活動
(フィリピン)

株価の状況

株価の推移



株主総利回り等

年	株価(円)*1	配当(円)	配当利回り	株主総利回り*2
2023/3	1,170	50	4.3%	7.5%
2024/3	1,476	60	4.1%	39.7%
2025/3	1,632	64	3.9%	59.1%
2026/3	1,781	81	4.5%	79.4%
2027/3*3	2,152	104	4.8%	121.2%

※1 株価は年度末の終値です。
※2 「(各期末日の株価－2022/3期末日の株価＋1株当たり配当累計額)÷2022/3期末日の株価」で算出しています。
※3 2027/3期の株価は、2026/6月末時点の株価を基準に算出しています。

V. ご参考資料

当社ウェブサイト「株主・投資家情報」



個人投資家の皆様へ
シェアードリサーチ社による
企業分析レポート

URL: <https://www.mitsubishisteel.co.jp/ir/>

統合報告書



価値創造プロセス



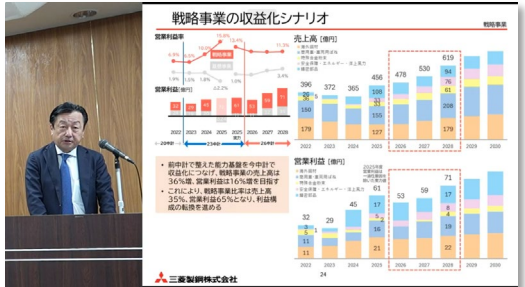
トップメッセージ



社外取締役×
機関投資家鼎談

URL: <https://www.mitsubishisteel.co.jp/sustainability/download/>

決算説明資料



決算説明会
動画配信



決算説明会書き起こし記事
(ログミーファイナンス)

URL: <https://www.mitsubishisteel.co.jp/ir/library/presentation/>

業績・財務指標の推移

			2021	2022	2023	2024	2025	2026 見通し
収益性	売上高	(億円)	1,463	1,705	1,699	1,596	1,546	1,660
	営業利益	(億円)	63	55	48	66	48	64
	営業利益率	(%)	4.3%	3.3%	2.8%	4.1%	3.1%	3.9%
	当期純利益	(億円)	41	22	△10	24	31	31
	営業CF	(億円)	△19	△28	65	60	101	22
資本効率性	ROIC	(%)	4.0%	3.4%	3.4%	4.6%	3.5%	4.4%
	ROE	(%)	9.9%	5.1%	△2.3%	5.6%	6.7%	6.3%
財務健全性	自己資本比率	(%)	30%	28%	28%	31%	34%	34%
	ネットD/Eレシオ	(倍)	0.7	0.8	0.8	0.8	0.5	0.6
株主還元	EPS	(円)	264.8	142.6	△63.5	155.9	202.0	205.0
	1株当たり配当	(円)	50	50	60	64	81	104
	配当性向	(%)	19%	35%	—	41%	40%	51%
	DOE(*)	(%)	1.9%	1.7%	2.0%	2.3%	2.8%	3.5%

※DOE: 支払配当÷株主資本(前期末)



<将来見通しに関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。